

災害廃棄物処理における AI 利活用の可能性

～土木分野への AI 活用の応用展開を目指して～

開催日時：令和2年10月15日（木）15時～17時

実施形式：Microsoft Teams によるオンラインにて実施

参加費： 無料

【開催趣旨】

令和2年7月豪雨が九州から東北にかけて、各地方に甚大な被害もたらしました。近年、豪雨災害は、頻度も高く、規模も大きくなっており、被災された方には心よりお見舞い申し上げます。

災害の早期復旧・復興の大きな妨げになるのは、多くの種類の廃棄物が混合された状態で大量に発生する災害廃棄物です。この廃棄物を効率よく処理するための指針が「災害廃棄物処理計画・処理実行計画」です。しかし計画策定は、地方自治体に任されており、現在、災害廃棄物処理計画の策定率はそれほど高くなく、特に中小規模の地方自治体では整備が遅れています。

そこで、環境研究総合推進費【1-2004】研究グループは、市民、担当者との対話を通じて、実効性の高い処理計画・処理実行計画の策定に資する自動作成支援システムの開発を目指しております。

今回、研究概要を説明した後、本研究のキーワードが「災害廃棄物処理における AI 活用」であることから、AI の専門家である矢吹信喜氏（大阪大学教授・本研究分担者）による「AI と土木—入門から将来展望まで」と題した特別講演を企画いたしました。是非、ご参加頂き、AI が土木分野にどう活用されているのか、また災害廃棄物処理に関するさまざまなご意見・ご希望も頂戴できたら幸いです。

【プログラム】

- 1 開会・趣旨説明 大塚義一（(株)奥村組）
- 2 AI 等の利活用による災害廃棄物処理の円滑化 中野正樹（名古屋大学）
- 3 特別講演 AI と土木—入門から将来展望まで 矢吹信喜（大阪大学）
- 4 全体質疑

【申込方法】

必ず事前にお申込みください。①右下のQRコードより申込フォームにアクセスして頂くか、②以下に示す申し込み先にお名前、ご所属、E-mail アドレスを送付する、のいずれかでお申込みください。

【お問合せと期限】

E-mail: mkatoh@meiji.ac.jp, 044-934-7101（明治大学：加藤雅彦）

申込期限：2020年10月8日

※なお、本シンポジウムは、令和2年度環境研究総合推進費（課題番号：1-2004）「AI等の活用による災害廃棄物処理プロセスの最適化と処理計画・実行計画の作成支援システムの構築」の支援を受けたものです。（広報用HP：http://www.soil.civil.nagoya-u.ac.jp/geo_mech/suishinihi/index.html）。

